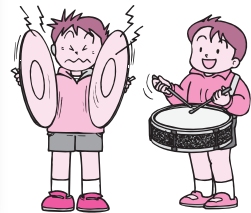




## おうじ 王寺町

(写真提供:王寺町)

### イベント情報



### 「夢おこし王寺ベルフェスタ」(表紙写真)

毎年9月23日に王寺町の代表的なイベント「夢おこし王寺ベルフェスタ」が開催されています。世代を超えた交流の場として、約3万の人々が集う一大イベントとなっています。前日から始まる「24時間耐久リレーマラソン」は、全国から多くのランナーが参加されています。(平成18年 52チーム)さらに、当日行われる「ベルパレード」では、吹奏楽演奏やバトンチーム、幼稚園、保育園児などが町内の商店街をにぎやかにパレードします。また、趣向をこらしたイカダで葛下川を下る「ふれあいウォーターライド」、アマチュアバンドコンテスト「ベル ミュージック スクランブル」など多くの催しのほか、食べ物の屋台や金魚すくい、ミニSLなど遊べるコーナーもあり、幅広く参加できるお祭りとなっています。

お問い合わせ 王寺町ベルフェスタ実行委員会(王寺町役場内)TEL:0745-73-2001(内線206)

### 達磨寺

王寺町にある史跡のなかで、最も著名なのが達磨寺です。達磨寺は王寺駅から約800m南下した国道168号線沿いにあります。現在は臨済宗南禅寺派で、本堂の下に古墳(6世紀末頃の円墳)がある珍しいお寺です。

『日本書紀』推古天皇21年(613)条には、聖徳太子が片岡で飢人に出会い、助け、埋葬した説話が記されていますが、この説話に登場する飢人はやがて太子信仰の隆盛とともに達磨大師の化身であるといわれるようになり、現在も本堂の下にある古墳が、太子が助け、埋葬したという達磨大師の墓であるとの伝承が生まれました。達磨寺はこの古墳(=達磨大師の墓)を整備するかたちで、鎌倉時代に開かれたと考えられています。また、室町時代には足利将軍の援助によって大規模に復興されました。



平成16年(2004)に新築された本堂内には、本尊の木造聖徳太子坐像、木造達磨坐像をはじめ、多くの文化財が展示されており、江戸時代の寛文7年(1667)に建立された方丈では、美しい庭とともに静寂のひとときを味わうことができます。



## 王寺駅前再開発事業

大正15年、町制施行により誕生した王寺町は、奈良県西の玄関口として古くは大和川の舟運で栄え、近代以降は大阪・奈良間を結ぶ国道や鉄道が集中する交通の要衝として発展してきました。中でも鉄道は、明治22年、大阪鉄道(現JR大和路線)の開通以来、JR和歌山線、近鉄生駒線、近鉄田原本線の4線が王寺に発着し、1日の乗降客10万人を数える奈良県第一のターミナルを形成しています。その王寺駅北側において、王寺町百年の大計として市街地再開発事業を実施するとともに周辺整備を行いました。

中でも平成16年に完成したJR王寺駅北側の再開発ビル「リーベル王寺」は、21世紀の生活都心にふさわしいまちづくりの拠点となっています。大型ショッピングセンターや多様な専門店街、住居スペースが整い、行政の窓口でもある「地域交流センター」を核に、交通、住宅、商業、文化などの総合的な都市機能を備えています。



## 水と緑のネットワーク



王寺町では、豊かな自然を大切にしまちづくりを基本に、個性的で住みやすいまちづくりを進めています。王寺町内を水と緑で囲まれた、素晴らしい環境に整備し、人と人との出会いからコミュニケーションの場として、また、体力づくりの場や健康づくりの場として幅広く利用されています。

### 1 緑の環状線(グリーンベルト) 自然に親しめる憩いの場

道路に街路樹や緩衝緑地の設置・歩道のカラー舗装化・公衆トイレ等を設置して、住民が、体力・健康づくりのために外に出て、歩くことが楽しくなるような町並みを形成しています。



### 2 水辺空間(大和川・葛下川)

地域の共有財産である大和川・葛下川を子どもからお年寄りまで、誰もが憩える場として、スポーツ・レクリエーション等が行えるように遊歩道や広場・ゲートボール練習場・植栽等を整備しました。また、水辺周辺のポイントづくりとして、冬期にやわらぎ会館玄関横や葛下川遊歩道にイルミネーションを点灯しています。このイルミネーションは、住民・企業の皆さまに寄付金(和基金)を募り、地域の活性化や歩きたくなる空間づくりを目的に、付近を行き交う人達に華やかな光を放ち、心に安らぎと潤いが得られることを願い点灯しています。

### 3 明神山自然の森

大和川をはさんで、信貴山と向かい合う明神山(標高273.7m)は、金剛山脈の最北端にあり、西側は大阪府に属しています。この頂上からは、360度のパノラマが楽しめ、大阪平野や奈良盆地を一望でき、晴れた日には、明石海峡大橋を見ることができます。山頂や山道には、山ツツジやユリを植栽、ハイキングや自然散策が楽しめるよう、遊歩道を整備し、身近なところでおおらかな自然環境を満喫することができます。

